

未来へつなごう ～コープデリのエコ活～ 温室効果ガスを減らそう

13 気候変動に
具体的な対策を



コープみらいは、「100年後の地球のために」を合言葉に、今、地球で起こっているさまざまな環境問題について、知って、学んで、自分たちにできることをやってみるエコアクション「エコ活」に取り組んでいます。

今回は、市民団体の活動を応援する“コープみらいくらしと地域づくり助成”の助成団体でもあるアースドクターふなばし*の阿部さんに、地球温暖化と温室効果ガスの関係について教えていただきました。



コープデリのエコ活についてさらに詳しくはこちらから

*アースドクターふなばし

2007年より船橋市を中心に、「めざすはストップ温暖化」をスローガンに活動をされている地球温暖化防止・啓発活動を推進している団体です。

知る・学ぶ

Q 温室効果ガスってよく聞くけど、どのようなものですか？

A 温室効果ガスとは、二酸化炭素やメタン等のことで、温室効果ガスは私たちが地球上で暮らせるよう、太陽の熱をとどめる大切な役割があります。しかし、増えすぎると気温が上がり、地球温暖化を引き起こす原因になります。

二酸化炭素は、私たちの暮らしを便利にする電気の発電や、自動車での移動などのために、化石燃料（石油・石炭など）を燃やしたときに大量に発生しています。つまり、私たちの生活が、便利になればなるほど温室効果ガスが増え、地球温暖化が進むのです。



阿部さん

地球温暖化による影響

●海面上昇

南極の氷などが解け、海面の水位が約100年間で19cm上昇。このまま海面上昇が続くと海岸地域は水没。

●熱中症

気温上昇により猛暑日が年々増え、熱中症にかかる人が増加。



●水不足

温暖化により雨や雪の降る時期と量が変わり、ダムに貯められる水の量が減少。

●食料不足

干ばつにより、農作物が育たず食料不足が発生。



●洪水・豪雨

気温の上昇で海面や地面から蒸発する水分が増加し、雲が増えることで局地的な大雨や台風の増加。

●海洋・陸上生態系損失

陸の気温、海の水温が上がり、これまで南方でしか生活できなかった生き物が北上する。逆に、北方で生活していた生き物は生息エリアが減る。



このままの生活を続けていくと100年後まで現代と同じ地球環境を維持していくのは難しいと言われています。私たち一人ひとりの行動や企業の努力によって温室効果ガスの発生を削減することが、SDGsの「目標13 気候変動に具体的な対策を」にもつながります。皆さんもできることから行動しましょう！

やってみる

インフォメーションWebモニターの皆さんに、おうちの中で実践している、環境を考えた行動について聞いてみました。

寝る前にはコンセントを抜く。電気をこまめに消す。



着る服を工夫し、暖房、冷房の設定温度を調節する。



お風呂は家族でまとまった時間に入る。

なるべく家族が同じ空間で過ごすようにする。



冷蔵庫に詰め込まない。開け閉めも減らす。



家の電球はすべてLEDにする。

朝炊いた残りご飯は、冷凍保存する。

煮物などは気持ち早く火を止めて、余熱で火を通すようにする。

コープみらいの取り組みの一部を紹介します。

コープみらいでは1ページで紹介したように、商品を通じた環境配慮の取り組みを進めています。さらに事業でもCO₂排出削減を進めています。

○電気使用量を削減

宅配センターやお店の冷蔵庫や冷凍庫、空調設備を省電力タイプのものに切り替えています。



冷気が逃げにくい扉付き冷凍ケースへ

○再生可能エネルギーの創出と使用

宅配センターやお店などの施設に太陽光発電パネルなどを設置し、再生可能エネルギーの活用を進めています。

○宅配車両の電動化を検討



宅配センターなどの車両を、電気自動車に切り替えることを検討しています。化石燃料を使用する車両と比べて、二酸化炭素の排出を抑えることができます。